

一般社団法人日本小児血液・がん学会
2020年度定時社員総会議事録

1. 日 時：2020年6月27日（土） 13時00分から14時10分まで
2. 場 所：ZOOM ウェビナー
3. 出席者：社員（評議員）総数 278名 この議決権数 278個
出席社員（評議員） 227名（委任状を含む） この議決権数 227個
4. 出席理事：足立壯一、天野功二、井上 健、今泉益栄、大植孝治、小野 滋、上條岳彦、
上別府圭子、木下義晶、康 勝好、副島俊典、滝田順子、西川 亮、細井 創
松本公一、真部 淳、盛武 浩、米田光宏
5. 出席監事：菊田 敦、越永従道
6. 議 長：細井 創

以上のとおり定足数に達したので、定款の規定により理事長細井 創は開会を宣した。まず逝去された会員へ黙祷をささげた後、議事に入った。

第1号議案 議事録署名人の選任の件

議長は、議事録署名人について、本日出席の木下義晶評議員と小川千登世評議員の2名を指名し、その承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

第2号議案 名誉会員推戴の件

議長より、名誉会員について、理事会より6名の推戴案が示され、その承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

第3号議案 役員改選の件

議長は、理事及び監事改選について、選挙によって新たに17名が選定されたことを議場に報告の上、再任及び新任として下記の者を指名し、その承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

記

理事 井上 健、大賀正一、小川千登世、奥山宏臣、康 勝好、塩飽 仁、高橋義行、
多賀 崇、滝 智彦、滝田順子、菱木知郎、藤 浩、淵本康史、松本公一、
盛武 浩、米田光宏

監事 檜山英三

なお、被選任者はいずれも就任を承諾した。

領域別定数に満たない領域の理事および監事増員については、定款施行細則に基づき、今後理事会で推薦を行い、改めて社員総会にて諮る予定とした。

また、議長は理事長改選について、選挙によって理事大賀正一が選定されたことを報告した。

第4号議案 評議員選出の件

議長は、評議員等資格審査委員会井上 健委員長に報告を依頼し、井上委員長より、6名より申請があり、委員会にて審査した結果、6名全員が申請資格を充足している旨の報告があり、その承認を諮ったところ、全員異議なく承認された。

第5号議案 定款改正の件

議長は、副理事長の2名体制への移行に伴う定款変更案について説明を行い、その後大賀正一次期理事長より補足説明がなされた。

会場より指摘のあった副理事長の順位付けを改正案に盛り込むことを前提に、その承認を諮ったところ、異議なく承認された。

第6号議案 令和元年度事業報告の件

議長は、令和元年度事業報告について詳細に説明し、その承認を全員に諮ったところ、異議なく承認された。

第7号議案 令和元年度収支決算の件

議長は、庶務・財務委員会松本公一委員長に報告を依頼し、松本委員長より令和元年度収支決算が示され、続いて越永従道監事から監査報告がなされた。議長が承認を全員に諮ったところ、異議なく承認された。

なお、越永監事より以下の意見が述べられた。

- ・ COVID-19などの緊急対応に対するリスクマネジメントを積極的に行っていただきたい。
- ・ 税務申告適正化のため総会開催日を年度終了後3か月以内の開催とするよう検討いただきたい。
- ・ 収支計算書の科目仕分けがNPO法人より継続されていることから再度検討いただきたい。
- ・ ホームページの委託業者(症例登録)について検討いただきたい。

(報告事項)

1. 令和2年度事業計画の件

議長より、令和2年度事業計画について報告がなされた。

2. 令和2年度収支予算の件

議長は、庶務・財務委員会松本公一委員長に報告を依頼し、松本委員長より令和2年度収支予算について報告がなされた。

3. 庶務報告の件

議長は、庶務・財務委員会松本公一委員長に報告を依頼し、松本委員長より令和元年度庶務報告がなされた。

4. 委員会活動状況報告

議長より、委員会活動状況について概説がなされ、一部担当理事から補足説明する形で、資料をもとに、以下の報告がなされた。

<規約委員会>

- ・ 常設委員会規程について定款・定款施行細則との整合性を諮り、改正した。

<利益相反委員会>

- ・ 学会役員・委員の他、学術集会においてCOI管理を遂行した。

<学術集会プログラム委員会>

- ・ 昨年の広島、今年の福島と2回学術集会のプログラム作成と開催に向けて企画・準備を行った。

<学会誌編集委員会>

- ・ 2年間に10号の学会誌を発行した。

<診療ガイドライン委員会>

- ・他学会から依頼のあった多数の診療ガイドラインへ当学会として意見、助言を行った。

<学会等選考委員会>

- ・各賞の選考推薦を行った
- ・本年度から新しい学術賞「小児がん病理病態研究学術奨励賞」を設立した。小児がんの病理病態に貢献する論文を年2点、研究対象は小児・AYA世代とし、自薦は認めず他薦のみ応募可能 副賞が1編あたり40万となっている。

<研究審査委員会>

- ・臨床研究審査状況が報告された。

<学術・調査委員会>

- ・2018年度から小児固形腫瘍も含む「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する」新規登録システムを開始した。
- ・日本小児科学会や厚労科研班とも連携する調査への協力を行った。
- ・4月より、COVID-19に関するガイダンス、関連論文の調査、学会HPでの情報提供をタイムリーに更新をしながら発信している。

<疾患委員会>

- ・止血血栓委員会委員の欠員が1名となっており、学会員から委員公募を行うこととした。

<看護委員会>

- ・「看護師・医師が連携して実施するケアに関する実態調査」の立案計画を行い実施した。
- ・日本小児がん看護学会が行っている教育研修の作成について協力を行った。

<教育・研修委員会>

- ・社員総会時の教育セミナー、学術集会時の教育セッションを企画と準備の実施。
- ・各地区セミナーの把握、緩和ケア研修CLIC開催の報告。
- ・守る会の海外留学女性事業の当選者選定作業の委託を受け、推薦作業を行った。

<専門医制度委員会>

- ・「2021年度問題」に対応する専門医研修施設の暫定認定要件の暫定措置の1年延長（2022年まで）を行った。
- ・COVID-19対応とし1年間の更新猶予（2021年2月更新予定者のうち基準に達しなかった該当者）、第7回日本小児血液・がん専門医試験(2020年9月12日13日開催予定)の1年間延長、暫定指導医の認定期間の1年延長（2022年3月31日）らの対応を行った。
- ・本年初めて日本小児血液・がん専門医指導医の更新審査を行い、更新資格者は専門医112名・指導医73名となった。

<社会・広報委員会>

- ・学会ホームページのリニューアルを実施した。
- ・小児がん患者へのCOVID-19感染予防・治療対応について当学会としてPBCに声明を発表した。

<保険診療委員会>

- ・多数の診療保険改訂に向けた厚労省への学会要望や公知申請を行った。
- ・薬剤適応拡大に向けた申請書準備等を行った。

<国際委員会>

- ・日韓ジョイントシンポジウムを企画、韓国小児血液癌学会からの演者推薦を行った。
- ・WHO小児がんプロジェクトとの連携・協力を行った。

<長期フォローアップ・移行期医療委員会>

- ・計9回の長期フォローアップ・移行期療検討委員会と4回の研修会を全国で行った。
- ・E-learningシステムの構築を行い、今後は小児がん中央機関、拠点病院を中心に継続していく予定。

5. 第62回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長は、菊田 敦会長に報告を依頼し、第62回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2020年11月20日（金）～22日（日） ※翌23日（月）は祝日
- ・会場：ビッグパレットふくしま（福島県産業交流館）（福島県郡山市）
- ・テーマ：『かなえよう みんなの夢』

COVID-19により現地集会の開催が難しい場合はウェブ開催も視野に検討を行っている。

最終決定は学術プログラム委員会ならびに理事会での協議の上、7月末～8月初旬頃までに決定する。

第63回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

井上次期会長不在のため、議長より第63回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2021年11月25日（木）～27日（土）
- ・会場：大阪国際会議場
- ・テーマ：『Science and Narrative』

6. 第64回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長は、越永 次々期会長に報告を依頼し、第64回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2022年11月24日（木）～26日（土）
- ・会場：東京都内（会場は未確定）
- ・テーマについては学術プログラム委員会ならびに理事会にて今後検討していく。

議長は、以上をもって一般社団法人日本小児血液・がん学会の定時社員総会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長ならびに議事録署名人がこれに記名押印する。

令和2年6月27日 一般社団法人日本小児血液・がん学会 定時社員総会

議長 細井 創 (印)

議事録署名人 木下 義晶 (印)

議事録署名人 小川 千登世 (印)